

NPO法人食の安全と微生物検査 2024年度第2回講演会のお知らせ

共催：学校法人東京農業大学食品安全研究センター

地球温暖化などを原因とする天候の極端化など、環境の不安定化が世界的に進んでいます。これに伴い、食料生産に様々な悪影響が及んでいます。また、地球規模で見た場合には人口は増え続けています。また、より多くのエネルギーを必要とする食材への需要も高まっています。これらを背景として食糧の不足が地球規模で起きつつあり、特に自給率が低い我が国には深刻な問題となりかねないことが懸念されています。

他方、せっかく生産された食料や食品が食卓にのぼる前に廃棄されてしまう状況が増えていると指摘があります。一次産品が流通ルートに乗せるには適さないというだけで、そのまま廃棄されているケースもありますが、加工食品が消費期限や賞味期限の関係などから廃棄されてしまうケースが増えています。また、食材や食品が腐敗や変敗などにより廃棄せざるを得ない、その懸念のために安全策として廃棄する、といった事態もみられます。家庭においても購入した食品や調理した食品の廃棄が増えている可能性があります。

こうした、食品ロスを少なくするための取組みが求められており、国のレベルでも、企業のレベルでも、様々な活動が展開されています。

今回は、消費者庁及び農林水産省で食品ロス対策に取り組んでおられる担当官からお話しをお聞きする機会をご用意しました。また、民間企業から消費期限の延長のための取組み、食品の品質保存技術に関する話題をご提供いただきます。

世界の食中毒情報資料集の2024年度版のご紹介もさせていただきます。

また、講演に関連して、当法人の賛助団体会員様のご協力を得まして、付設展示も行います。検査機関や食品関係の企業、食品衛生関連のお仕事を担当しておられる方に是非ともお聞きいただきたい講演会です。

講演会には会場の東京農業大学世田谷キャンパスの榎本ホールにお出でいただきまして、聴講していただき、議論にご参加いただきたいと思います。なお、お時間が取れない方、遠隔地におられる方のためにLive配信を併用するハイブリッド開催を予定しています。

2024年度 第2回講演会開催要領

- 日 時**：2024年11月22日 金曜日 12時50分～（開場12時00分）
会 場：榎本ホール 東京農業大学世田谷キャンパス内（世田谷区桜丘1-1-1）
最 寄 駅：小田急線 経堂駅／千歳船橋駅 徒歩15分・・・バス利用なら「農大前」が目の前です。
 バス：小田急線 千歳船橋駅・・・（東急バス 渋谷駅行または用賀行）5分
 東急田園都市線 用賀駅・・・（東急バス 祖師ヶ谷大蔵駅行または渋谷行）10分
 東急田園都市線 三軒茶屋駅・・・（小田急バス調布駅南口行）または
 ……（東急バス成城学園駅西口行、用賀行、祖師ヶ谷大蔵駅行）20分
 ……三軒茶屋発のバスはJR山手線渋谷駅からも利用できます（所要時間は30分程度）

Live 配信：同時刻でのLive配信で視聴ができます。

※：回線・機器の状況によっては通信が不安定になる場合があります。また、それを原因とした映像等の不具合が発生する可能性があります。予めご了承ください。

2024年度 第2回講演会 共催：学校法人東京農業大学食品安全研究センター

講演1 食品ロス削減への取組みと食品安全

田中 誠 先生（消費者庁消費者教育推進課 食品ロス削減推進室長）

講演2 事業系食品ロスの削減への取組

速見 基弘 先生（農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部

外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室 課長補佐）

講演3 チルドサラダ商品の消費期間、賞味期間延長技術と食品安全

ーカット野菜、ロングライフサラダ、高圧処理サラダー

吉田 佳弘 先生（キューピー株式会社 研究開発本部 食創造研究所

野菜価値創造部 野菜・惣菜研究チーム チームリーダー）

講演4 脱酸素剤による食品の品質保存技術～微生物制御への有効性

田中 宏和 先生（MGC エージレス株式会社 エージレスサービスセンターカスタマーサービス部長）

パネルディスカッションと質疑

演者及び司会進行

食中毒情報資料集のご紹介

参加費・・・会場参加の場合：3,000円（資料代を含む）

・・・Live 配信視聴料：3,500円（資料事前郵送費用を含む）

当法人の会員及び食品安全研究センター研究会会員は無料

詳しくはホームページをご覧ください。

参加申込み：ホームページからお申込み下さい。

<https://www.foodsafety-mbt.com/form/seminar/index.html>



申込受付期間：11月8日まで

- ・会場参加の場合：“受講票”は11月15日頃までに、申込みされたアドレスへの返信メールに添付してお送りします。資料は、“受講票”と引換えに受付でお渡ししますので、必ず受講者本人がご持参ください。
- ✓Live 配信視聴の場合：“招待URL”は11月15日頃までに、申込みされたアドレスへ返信メールに添付してお送りします。資料の会誌「食の安全と微生物検査」第14巻第2号は、11月20日までにお手元に届くように郵送いたします。Live 配信視聴料の請求書と郵便振替用紙を同封しますので、必ず12月20日までに指定口座へお振込み下さい。

当法人の会員として無料で参加(会場での参加及びLive配信視聴)できる範囲は次の通りです。

1. 団体正会員：会員機関の所属する3名まで
2. 名誉会員及び個人正会員：会員本人または推薦する1名
3. 団体賛助会員：会員組織に所属する2名×口数まで
4. 個人賛助会員：会員本人1名

新たに会員として第2回講演会に参加されることを希望される場合

- 会員資格得るための手続きは以下の URL から行うことができます。
- 会員としての特典もご覧いただけます。

<https://www.foodsafety-mbt.com/join/index.html>



問合せ先：NPO法人食の安全と微生物検査 事務局

事務局：東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学8号館3階 食品安全研究センター内

fsmadoguchinfo@foodsafety-mbt.com

電話080-6390-2432

問合せはメールでお願いします。

